

NYマーケットレポート (2015年1月27日)

NY市場では、序盤に発表された12月の米耐久財受注が予想外のマイナスに落ち込んだことを受けて、米経済の先行きに慎重な見方が広がったことや、欧米の株価が大きく下落する動きとなったことを受けて、比較的安全資産とされる円が買われる動きとなり、ドル円・クロス円は軟調な動きとなった。しかし、その後に発表された米新築住宅販売件数が2013年6月以来、米消費者信頼感指数が2007年8月以来の高水準となったことや、株価が下げ幅を縮小する動きとなったことから、ドル円・クロス円は堅調な動きとなった。

2015/1/27 (火)

TOKYO	東京終値	東京高値	東京安値
USD/JPY	118.05	118.67	117.93
EUR/JPY	132.79	133.45	132.55
GBP/JPY	177.98	179.05	177.90
AUD/JPY	93.51	94.01	93.45
EUR/USD	1.1250	1.1259	1.1223

LONDON	LD高値	LD安値
USD/JPY	118.25	117.79
EUR/JPY	133.96	132.73
GBP/JPY	178.52	177.86
AUD/JPY	94.09	93.49
EUR/USD	1.1346	1.1241

*LD高安は東京クローズ～NYオープンまでの高安

アジア主要株価	終値	前日比
日経平均	17768.30	+299.78
ハンセン指数	24807.28	-102.62
上海総合	3352.96	-30.22
韓国総合指数	1952.40	+16.72
豪ASX200	5547.23	+45.41
インドSENSEX指数	29571.04	+292.20
シンガポールST指数	3412.20	+13.68

欧州主要株価	終値	前日比
英FT100	6811.61	-40.79
仏CAC40	4624.21	-50.92
独DAX	10628.58	-169.75
ST欧州600	368.70	-3.69
西IBEX35指数	10598.90	-97.20
伊FTSE MIB指数	20645.82	-110.90
南ア 全株指数	50711.09	+373.11

NEW YORK	NY終値	NY高値	NY安値
USD/JPY	117.85	118.01	117.34
EUR/JPY	134.08	134.15	132.94
GBP/JPY	179.10	179.43	177.94
AUD/JPY	93.43	93.67	93.19
NZD/JPY	87.77	88.02	87.33
EUR/USD	1.1378	1.1423	1.1299
AUD/USD	0.7928	0.7975	0.7919

米主要株価	終値	前日比
米ダウ平均	17387.21	-211.49
S&P500	2029.55	-27.54
NASDAQ	4681.50	-90.27
その他主要株	終値	前日比
トロント総合	14833.88	+36.05
ボルサ指数	42627.82	-110.03
ボベスパ指数	48591.23	+14.68

1/28 経済指標スケジュール

08:30	【豪】12月ウエストバック先行指数
09:00	【豪】12月DEWRインターネット求人指数
09:30	【豪】4Q消費者物価指数
16:00	【スイス】12月UBS消費指数
16:00	【独】2月GfK消費者信頼感調査
16:00	【独】12月輸入物価指数
16:45	【仏】1月消費者信頼感指数
18:00	【ノルウェー】11月失業率
21:00	【米】MBA住宅ローン申請指数
04:00	【米】FOMC 金融政策発表
05:00	【NZ】政策金利発表

コモディティ	終値	前日比
NY GOLD	1291.70	+12.30
NY 原油	46.23	+1.08
CMEコーン	381.25	-2.75
CBOT 大豆	973.75	-9.75

米国債利回り	本日	前日
2年債	0.50%	0.52%
3年債	0.86%	0.87%
5年債	1.32%	1.34%
7年債	1.61%	1.64%
10年債	1.81%	1.83%
30年債	2.39%	2.40%

1/28 主要会議・講演・その他予定

・米2年債入札

(出所:SBILM)

NY 市場レポート

欧州タイム

21 : 00

≪企業決算≫

米デュポン

第4四半期 1株利益 0.71 ドル (予想 0.71 ドル)

米ファイザー

第4四半期 調整後の1株利益は 0.54 ドル (予想 0.53 ドル)

≪ポイント≫

前日の米格付け会社によるロシア格下げを受けて、ロシア国債の保証コストが上昇している。ロシアの5年物GDS (クレジット・デフォルト・スワップ) は、前日から+12bpの601bpとなり、2週間ぶりの高水準を更新している。また、ロシアのドル建て国債の対米国債スプレッドは13bp拡大の666bpで、12月半ば以来の高水準となった。

21 : 35

≪企業決算≫

米キャタピラー

第4四半期 調整後の1株利益は 1.35 ドル (予想 1.55 ドル)

22:00

ドル/円 117.79 ユーロ/円 133.11 ユーロ/ドル 1.1301

22:00

欧州株式市場・米株価指数先物

欧州主要株価	株価	前日比	米株価先物	株価	前日比
英 FT100	6817.43	-34.97	ダウ INDEX FUTURE	17409	-2.05
仏 CAC40	4618.29	-56.54	S&P500 FUTURE	2037.50	-16.10
独 DAX	10674.93	-123.40	NASDAQ FUTURE	4228.25	-41.00

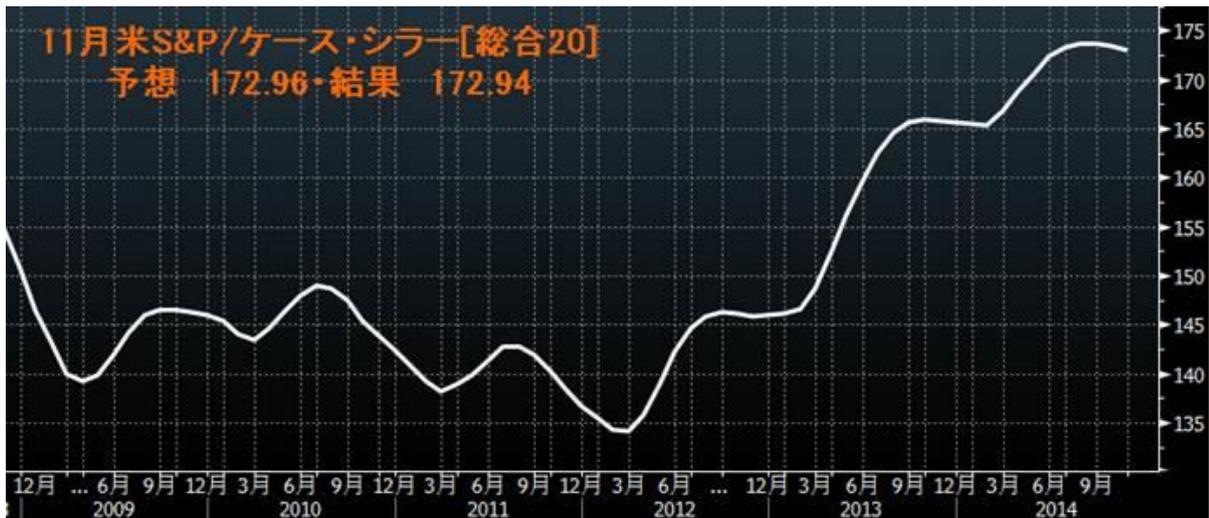
(出所: SBILM)

22 : 32

≪ 経済指標の結果 ≫

12月米耐久財受注 (前月比) -3.4% (予想 0.4%・前回 -2.1%)
 前回発表の-0.7%から-2.1%に修正

12月米耐久財受注 [除輸送用機器] -0.8% (予想 0.6%・前回 -1.3%)
 前回発表の-0.4%から-1.3%に修正



経済指標データ

《S&P/ケース・シラー住宅価格指数》

(米主要 20 都市) 季調前

	11月	10月	9月	8月	7月	6月
指数	172.94	173.32	173.56	173.69	173.36	172.33
前月比	-0.22	-0.14	-0.07	0.19	0.60	1.00
前年比	4.69	4.63	4.80	5.59	6.76	8.07

(米主要 10 都市) 季調前

	11月	10月	9月	8月	7月	6月
指数	187.71	188.19	188.49	188.65	188.36	187.22
前月比	-0.26	-0.16	-0.08	0.15	0.61	1.01
前年比	4.17	4.38	4.73	5.56	6.79	8.11

【S&P/ケース・シラー総合 20】

S&P/ケース・シラー総合 20 (S&P/Case-Shiller Home Price Indices) は、全米の主要 20 都市における一戸建て住宅の再販価格を指数化したもので、アメリカ国内の住宅価格動向を示す最も一般的な指数の一つである。また、住宅価格は個人消費に大きな影響を与えるため、米国の景気指標としても重視されている。20 都市から算出される指数と 10 都市から算出される指数がある。

23 : 00

◀ 経済指標の結果 ▶

12月メキシコ貿易収支 2億5400万USD (予想 6億5420万USD・前回 -10億7640万USD)

11月メキシコ経済活動GAE 2.04% (予想 2.30%・前回 2.69%)
 前回発表の2.54%から2.69%に修正



(出所:ブルームバーグ)

23 : 33

米主要株価

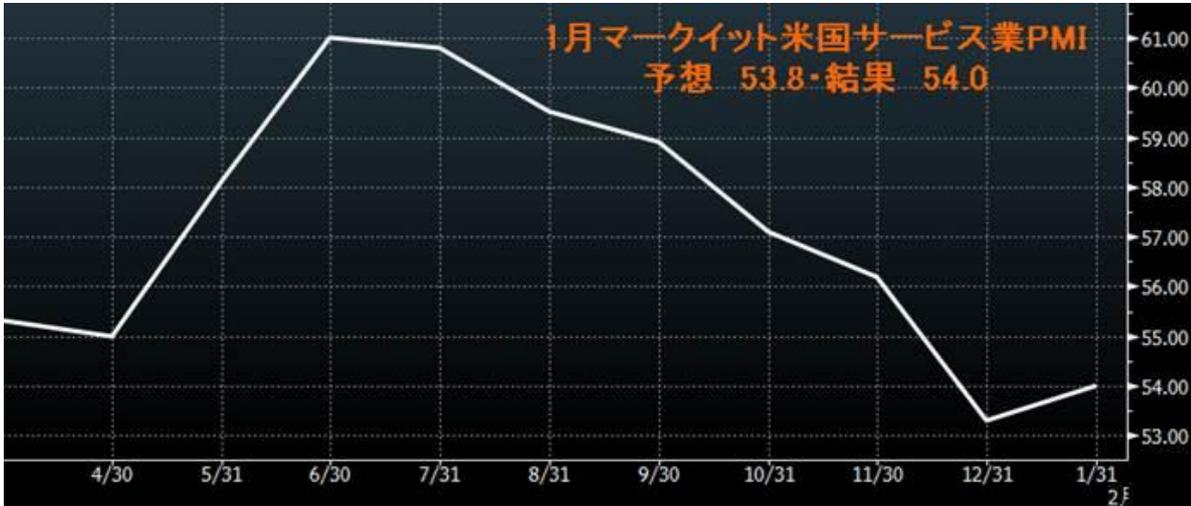
米主要株	株価	前日比
ダウ平均	179393.98	-284.72
ナスダック	4693.18	-78.59

(出所:SBILM)

23 : 45

◀ 経済指標の結果 ▶

1月マークイット米国サービス業PMI 54.0 (予想 53.8・前回 53.3)



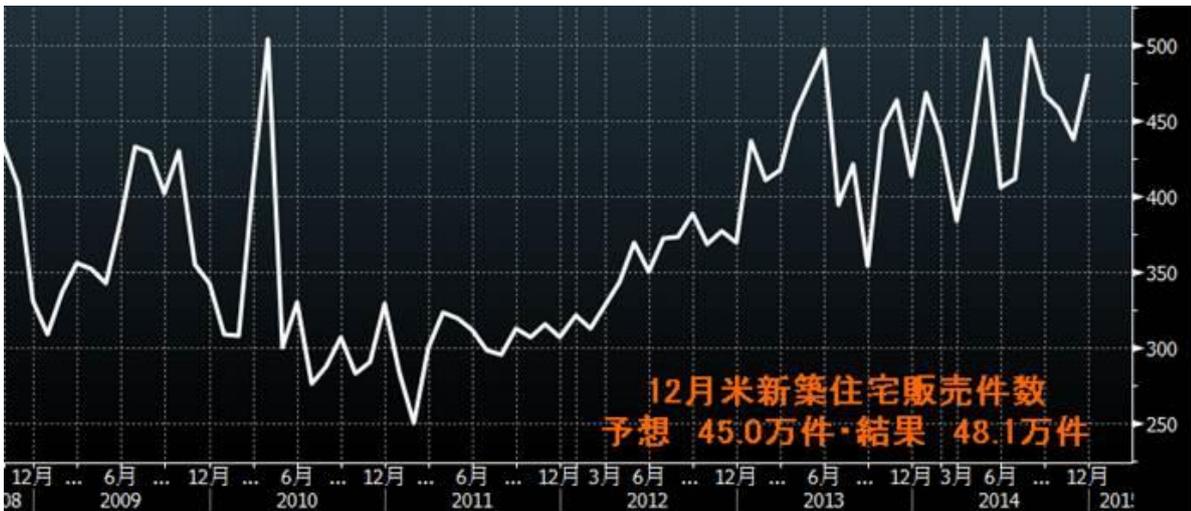
(出所:ブルームバーグ)

0 : 00

◀ 経済指標の結果 ▶

12月米新築住宅販売件数 48.1万件 (予想 45.0万件・前回 43.1万件)
 前回発表の43.8万件から43.1万件に修正

12月米新築住宅販売件数(前月比) 11.6% (予想 2.7%・前回 -6.7%)
 前回発表の-1.6%から-6.7%に修正



(出所:ブルームバーグ)

経済指標データ

《新築住宅販売》

	12月	11月	10月	9月	8月	7月
販売戸数	48.1	43.1	46.2	45.6	44.8	39.9
前月比 (%)	11.6	-6.7	1.3	1.8	12.3	-2.4
	(万件)					
	12月	11月	10月	9月	8月	7月
北東部	4.3	2.8	2.7	3.3	2.8	2.3
中西部	5.4	6.1	6.5	6.0	5.2	5.5
南部	25.3	21.5	25.4	24.7	24.6	22.5
西部	13.1	12.7	11.6	11.6	12.2	9.6
	(万件)					

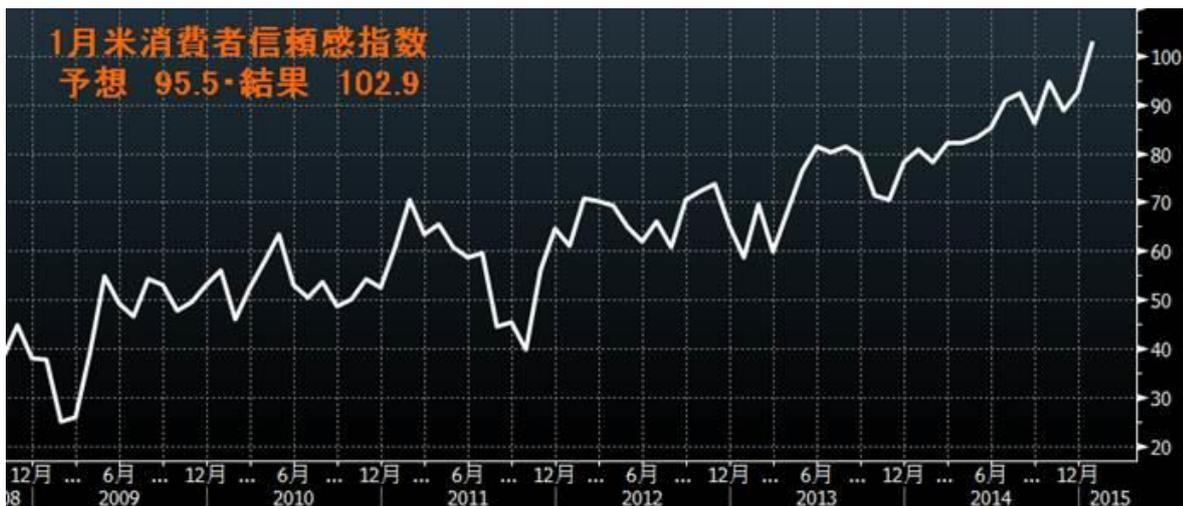
【米新築住宅販売件数】

新築住宅販売件数は、米国内で販売された新築住宅件数（売買契約締結時点）を集計した経済指標であり、地域別の販売件数や販売価格、一戸建やコンドミニアム、集合住宅を含めた数字も発表されている。そして、景気動向の先行を見る上で注目されている指標の一つである。

0:00

《 経済指標の結果 》

1月米消費者信頼感指数 102.9 (予想 95.5・前回 93.1)
 前回発表の92.6から93.1に修正



(出所:ブルームバーグ)

経済指標データ

《消費者信頼感指数》

	1月	12月	11月	10月	9月	8月	7月
信頼感指数	102.9	93.1	91.0	94.1	89.0	93.4	90.3
現況指数	112.6	99.9	93.7	94.4	93.0	93.9	87.9
期待指数	96.4	88.5	89.3	93.8	86.4	93.1	91.9

【現況指数】

業況	1月	12月	11月	10月	9月	8月	7月
良好	28.1	24.7	24.8	24.7	24.2	23.5	23.3
悪化	16.8	18.9	21.8	21.3	21.2	21.3	22.8
普通	55.1	56.4	53.4	54.0	54.6	55.2	53.9

【雇用】

十分	20.5	17.2	16.2	16.5	16.3	17.6	15.6
不十分	53.8	55.5	55.1	54.5	54.3	52.4	53.5
困難	25.7	27.3	28.7	29.0	29.4	30.0	30.9

【半年先】

業況							
改善	18.4	17.8	18.3	19.4	19.0	20.8	20.4
悪化	7.7	9.9	10.4	8.9	11.4	9.9	12.1
横ばい	73.9	72.3	71.3	71.7	69.6	69.3	67.5
雇用							
改善	16.7	14.6	15.5	16.0	16.0	17.8	18.7
悪化	15.0	16.5	16.1	14.1	16.9	15.2	16.6
横ばい	68.3	68.9	68.4	69.9	67.1	67.0	64.7

【米消費者信頼感指数】

消費者信頼感指数は、米国のCB（Conference-Board=コンファレンスボード「全米産業審議委員会」）という民間の調査機関が発表する消費者マインドを指数化したもの。5,000人の消費者にアンケート調査を行い、現在と半年後の景況感、雇用、所得の項目で回答した結果を指数化している。

0:00

◀ 経済指標の結果 ▶

1月米リッチモンド連銀製造業指数 6（予想 5・前回 7）



（出所：ブルームバーグ）

経済指標データ

◀ リッチモンド連銀製造業指数 ▶

	1月	12月	11月	10月	9月	8月
景況指数	6	7	4	20	14	12
出荷	10	5	1	23	11	10
新規受注	4	4	1	22	14	13
受注残	-9	-5	-2	9	6	15
雇用者数	5	13	10	14	17	11

価格動向	1月	12月	11月	10月	9月	8月
仕入価格	0.70	1.26	1.57	2.22	2.10	1.39
販売価格	0.53	0.83	0.90	1.23	1.17	0.76

【リッチモンド連銀製造業指数】

リッチモンド連銀製造業指数は、米国の12連邦準備銀行の1つであるリッチモンド地区連銀が発表している製造業指数。1993年から算出が開始されており、NY連銀、フィラデルフィア連銀が発表する指数と合わせて製造業の景況を確認できる。管轄はウェストバージニア州、サウスカロライナ州、ノースカロライナ州、バージニア州、メリーランド州、ワシントンDCなど

0:30

◀ NY 株式市場 序盤 ▶

序盤の株式市場は、前日に減益決算を発表したソフトウェア大手が大幅安となり、相場全体を押し下げる動きとなった。そして、12月の米耐久財受注が市場予想に反して大きく落ち込んだことで、米経済の先行きに慎重な見方が広がったことも影響し、主要株価は大きく下落する動きとなった。

◀ ポイント ▶

本日、ハンガリーの政策金利は据え置きとなった。普段はあまり注目されないが、今年に入ってからルーマニア、インド、エジプト、スイス、ペルー、トルコ、カナダ、パキスタンが利下げを実施しており、各国中銀の動きが注目されている。

今週は、28日にタイ、マレーシア、29日に米国、ニュージーランド、南ア、30日にメキシコ、ロシア、ブルガリア、コロンビアと続く。そして、トルコ中銀総裁は、2月3日発表のインフレ率が1%ポイント以上鈍化という条件で緊急利下げを実施（4日）する可能性を示唆している。なお、ブラジルは、今月利上げを実施している。

◀ 経済指標のポイント ▶

(1) 12月の米耐久財受注は、前月比-3.4%の2305億2500万ドルとなり、2ヵ月連続の減少となった。輸送機器が-9.2%と大きなマイナスとなったことが要因となった。輸送機器を除いた受注は-0.8%だった。

①輸送機器では、国防関連の航空機が-19.9%、変動の激しい民間航空機が-55.5%、一方自動車・同部品は+2.7%だった。輸送機器以外では、一次金属が-1.5%、一般機械が-3.7%、電算機・電子製品が-1.3%となった。

②資本財は-9.3%、国防関連は-5.3%となった。資本財から国防関連を除いた受注も-9.7%。民間設備投資の先行指標となる非国防資本財から航空機を除いたコア受注は-0.6%だった。

③耐久財全体の出荷高は+1.1%とプラスに転じた。また、在庫高も+0.5%となった。一方、受注残高は-0.8%だった。

(2) 11月のS&P/ケース・シラー20都市の住宅価格指数は、前年比+4.31%と市場予想の+4.30%とほぼ一致した。また、伸びは前月の4.5%から鈍化し、2012年10月以来の低水準となった。在庫減少と融資基準の厳格化で低調な結果となった。

(3) 12月の米新築住宅販売件数は、年率換算で前月比+11.6%の48.1万件となり、2ヵ月ぶりの増加となった。件数ベースでは、2013年6月以来の高水準となった。また、前年同月比も+8.8%となった。

①住宅在庫は12月末時点で、前月比+2.3%の21.9万件と10ヵ月連続で増加した。また、販売に対する在庫の比率は5.5ヵ月となり、適正水準とされる6.0ヵ月を引き続き下回った。

②物件の中間価格は、前月比で+2.2%の29万8100ドル、平均価格は前月比+9.6%の37万7800ドルとなった。

③地域別では、最大市場の南部が+17.7%、北東部が+53.6%、西部が+3.1%となった一方、中西部は-11.5%となった。

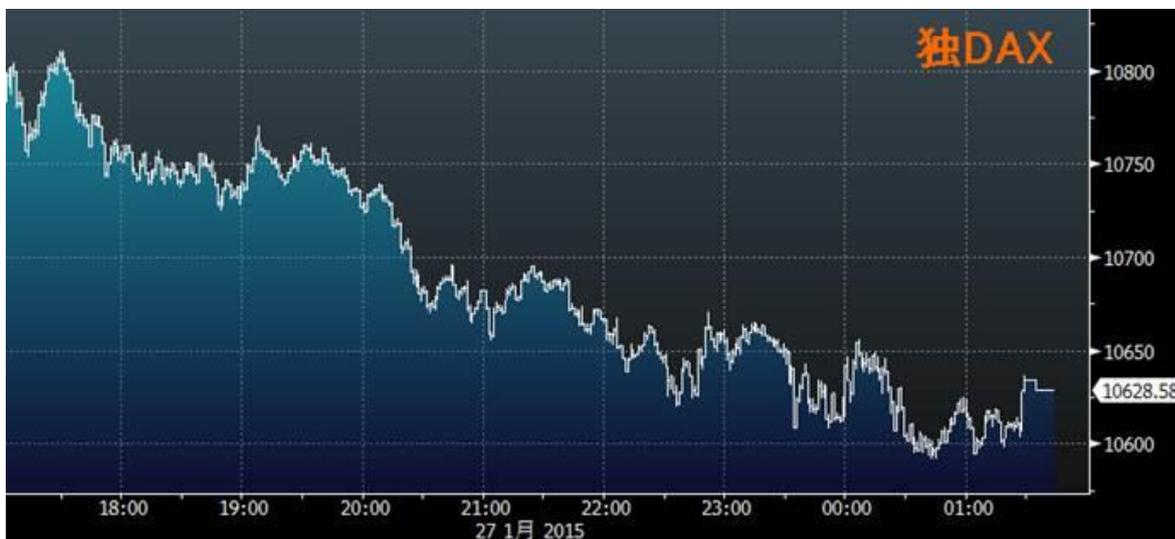
(4) 1月の米消費者信頼感指数は、102.9となり、市場予想の95.1を上回り、2007年8月以来の高水準となった。現況指数は112.6（前月の99.9）、期待指数は96.4（前月の88.5）となり、いずれも前月から上昇。また、雇用は十分との回答が20.5%（前月17.2%）と改善するなど、雇用指数は-5.2（前月-10.1）となった。そして、インフレ期待は5.0%と、原油安にもかかわらず前月から横ばいで推移した。労働市場に関する見方が改善しており、経済と労働市場の短期的な見通しに加え、所得の見通しについても、これまでよりも楽観的な見方が示されたとの指摘もある。

欧州主要株価	終値	前日比
英 FT100	6811.61	-40.79
仏 CAC40	4624.21	-50.92
独 DAX	10628.58	-169.75
ストック欧州 600 指数	368.70	-3.69
ユーロファースト 300 指数	1475.84	-12.19
スペイン IBEX35 指数	10598.90	-97.20
イタリア FTSE MIB 指数	20645.82	-110.90
南ア アフリカ全株指数	50711.09	+373.11

(出所:SBILM)

《欧州株式市場》

欧州株式市場は、反緊縮派のギリシャ新政権とEUなどとの間で、金融支援をめぐる交渉が難航するとの懸念が広がったことから、主要株価な軟調な動きとなった。また、最近の上昇で利益確定の売りが出た。



(出所:ブルームバーグ)

2:00

米主要株価・中盤

ダウ 17320.16 (-358.54)、 S&P500 2028.71 (-28.38)、 ナスダック 4684.76 (-86.98)

◀ NY 債券市場 ・ 午前 ▶

序盤のニューヨーク債券市場は、12月の米耐久財受注が市場の予想に反して減少したことで米景気の先行きに対する不安が広がり、安全資産とされる米国債の買いが先行した。米国株の急落もリスク回避の動きに拍車を掛け、国債相場を押し上げた。

午前の利回りは、30年債が2.34%（前日2.40%）、10年債が1.76%（1.83%）、7年債が1.57%（1.64%）、5年債が1.28%（1.34%）、3年債が0.83%（0.88%）、2年債が0.49%（0.51%）。

◀ 欧州のポイント ▶

①トルコ中銀総裁は、金融政策決定会合を2月24日から20日前倒して2月4日に開催する可能性があるとして述べた。そして、前日3日に発表される1月のインフレ率が1ポイント低下する場合には、緊急利下げを実施する可能性を示唆した。トルコ中銀は、1月20日に1週間物レポ金利を0.50ポイント引き下げて7.75%としている。

②ギリシャ・アテネ大のヤニス・ファロファキス経済学教授（53）は、組閣で財務相に就任することを明らかにした。ファロファキス教授は、インタビューで財務相就任の時期について聞かれ、午後にも発表されるだろうと回答した。次期財務相として、ギリシャにとっては有利だがアイルランド、スロバキア、ドイツ、フランスやイタリアにとって不利となるような解決策をEUに対し要請することはないと確約すると述べた。

③ポーランド統計局が発表した2014年のGDP伸び率（速報値）は3.3%となり、2013年の1.7%から伸びが加速した。2014年の消費の伸びは3.0%、前年は1.3%。内需の伸びは4.6%、前年は0.2%。固定資産投資の伸びは9.4%、前年は0.9%。家計消費の伸びは3.0%、前年は1.1%となった。

④英国立統計局が発表した第4・四半期のGDP速報値は、前期比+0.5%と、市場予想の+0.6%を下回った。ただ、2014年通年のGDPは+2.6%と、7年ぶりの高成長を記録した。2013年は1.7%となった。オズボーン財務相はGDP統計発表後、「景気は回復軌道に乗っている。英国経済を混乱から守ることが政府の計画であり、今この計画を放棄して経済を再び混乱させるべきではない」と述べた。

4 : 40

NY金は、中心限月が前日比12.30ドル高の1オンス=1291.70ドルで取引を終了した。

5 : 15

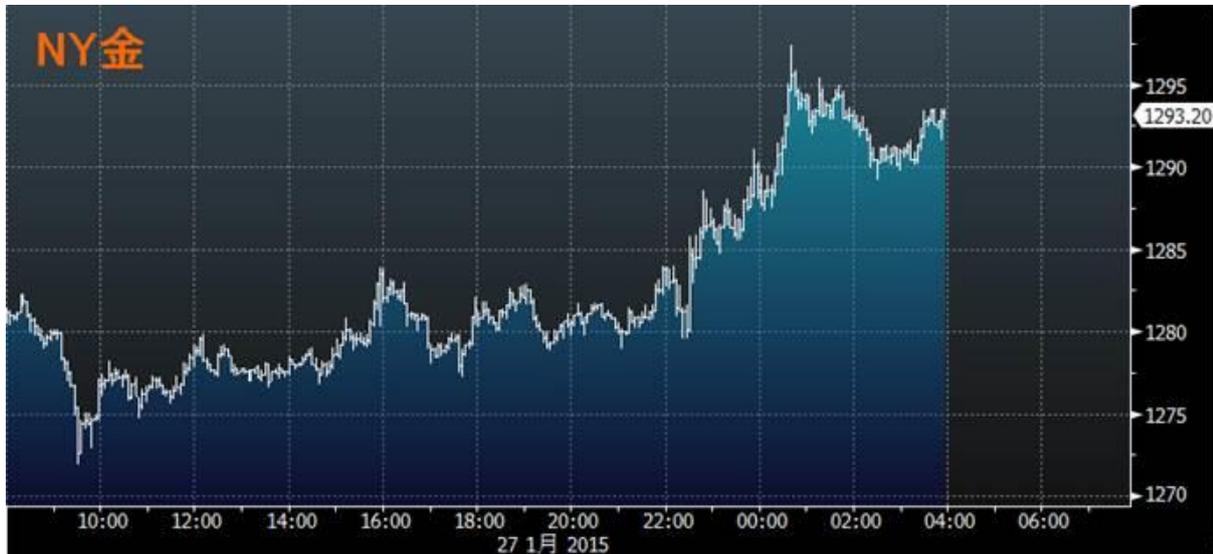
NY原油は、中心限月が前日比1.08ドル高の1バレル=46.23ドルで取引を終了した。

主要商品	終 値	前日比
NY GOLD	1291.70	+12.30
NY 原油	46.23	+1.08

(出所：SBILM)

◀ NY 金市場 ▶

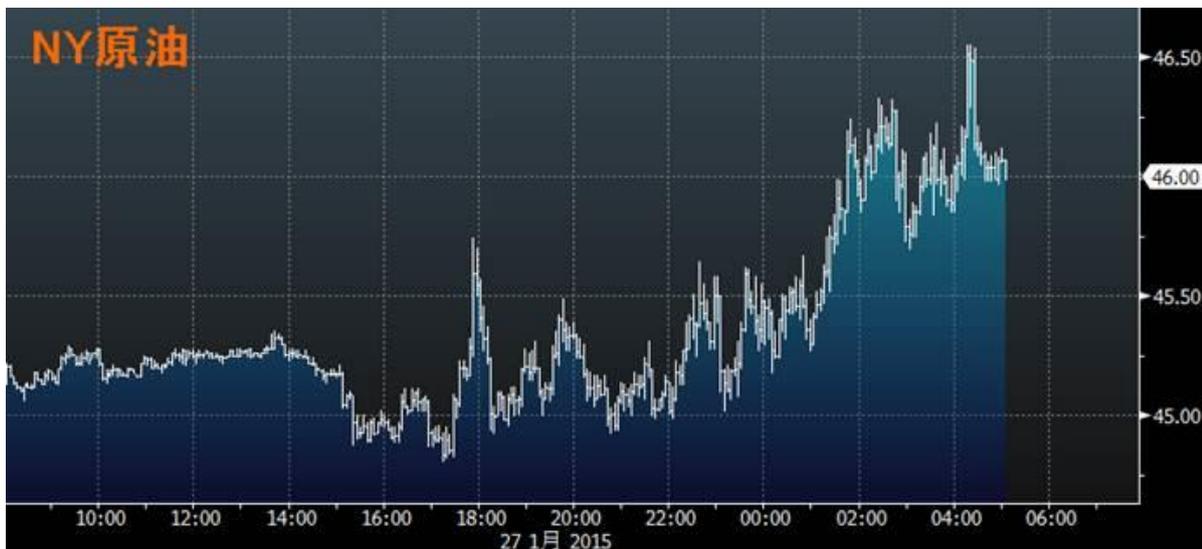
NY 金は、12 月の米耐久財受注が大幅に減少したことをきっかけに、投資家のリスク回避の動きが強まり、比較的
安全な資産とされる金を買う動きが先行した。また、ドルが主要通貨に対して下落したことから、ドルの代替資産
としての需要も高まった。



(出所:ブルームバーク)

◀ NY 原油市場 ▶

NY 原油は、ドルが主要通貨に対して下落したことから、ドル建ての原油の割安感から買いが優勢となった。ただ、
28 日に発表される米石油在庫統計で原油在庫の増加が見込まれることが圧迫要因となった。



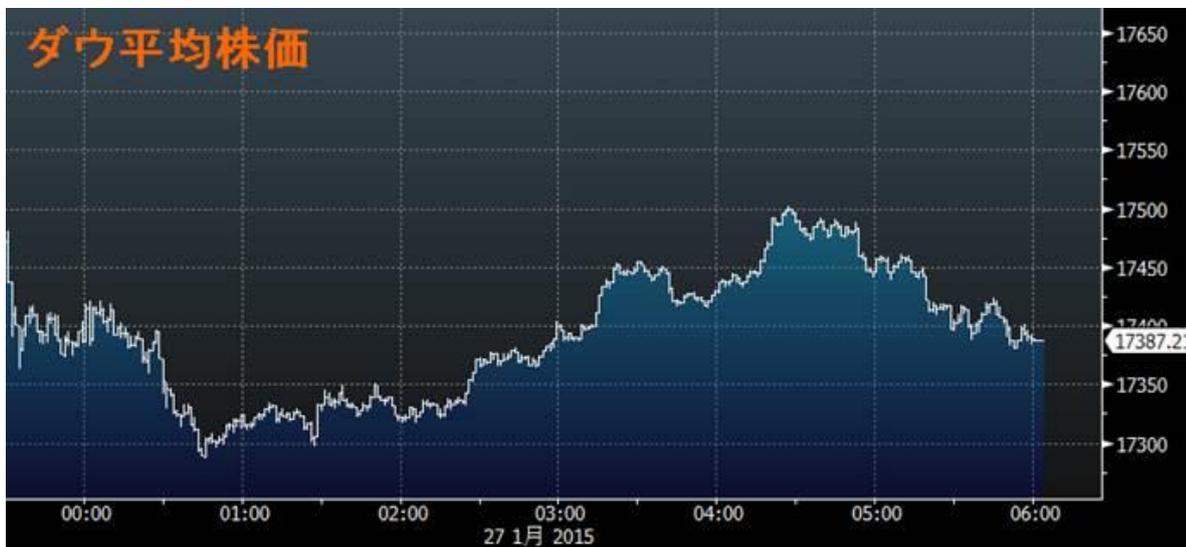
(出所:ブルームバーク)

主要株価	終値	前日比	高値	安値
ダウ平均株価	17387.21	-291.49	17638.53	17288.31
S&P500 種	2029.55	-27.54	2047.86	2019.91
ナスダック	4681.50	-90.27	4721.88	4659.83

(出所:SBILM)

《米株式市場》

米株式市場は、前日引け後に減益決算を発表したソフトウェア大手が大幅安となり、相場全体を押し下げる動きとなった。また、12月の米耐久財受注が市場予想に反して大きく落ち込んだことで、米経済の先行きに慎重な見方があったことも影響し、主要株価は大きく下落する動きとなった。ダウ平均株価は、序盤から軟調な動きとなり、一時前日比で390ドル安まで下げる動きとなった。しかし、その後は大きく下げ幅を縮小する動きとなった。



(出所:ブルームバーグ)

主要通貨	NY 終値	NY 高値	NY 安値
USD/JPY	117.85	118.01	117.34
EUR/JPY	134.08	134.15	132.94
GBP/JPY	179.10	179.43	177.94
AUD/JPY	93.43	93.67	93.19
NZD/JPY	87.77	88.02	87.33
EUR/USD	1.1378	1.1423	1.1299
AUD/USD	0.7928	0.7975	0.7919

(出所:SBILM)

《外国為替市場》

外国為替市場は、欧米の株価下落や、米経済指標が悪化したことから、序盤のドル円・クロス円は軟調な動きとなった。その後は、米経済指標の良好な発表が続いたことや、株価が下げ幅を縮小したことを受けて、ドル円クロス円は堅調な動きとなった。



(出所:ブルームバーグ)

提供: SBI リクイディティ・マーケット株式会社

お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複製もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様ご自身でお願いします。